

No. 915

過疎と自然 —福島—

雄大な自然の懷に抱かれた福島県南会津郡田島町。農業と林業で生計の道をたてているこの町にも少しづつではあったが過疎の波が押寄せていた。そんな折、追い打ちをかけるようにして町の唯一の産業であった八總鉱山が鉱量の枯渇を理由に閉山した。鉱山地区に住んでいた3,000人近い住民が田島町を去った。かつては1日に銅500トンを産出し、町の財源の $\frac{1}{4}$ を受け持っていただけに残された住民のショックは大きかった。半年がすぎた今、無人地区となった鉱山の跡は工場は破壊され、宅地には草木が生い茂った。人間が支配していた町は今ではもう大自然のなすがまだ。皮肉にも荒れ放題の花壇には人間が作った時よりも美しい花が咲いた。トカゲ、蝶トンボ、そこは小動物の楽園と化した。7月22日、この地区に

*都会の子供たちに自然を。と神奈川県がキャンプ村を開設した。しかし、彼らの目に映るのは美しい小川や美しい草花だけなのであろうか。

田島町で一番の繁栄を誇った鉱山地区は今大自然の中に跡形もなく溶け込もうとしている。
子供たちがこの大自然の営みを自分の目で見た時、真に*自然。を理解することだろう。

夏バテをぶっ飛ばせ!!

暑い暑いとなげいてみても一向に涼しくならぬ夏の一日。

それなら暑さに挑戦とガマン大会が開かれました。ラクダの下着をつけて、タオルを巻いてドテラを着て、ナベ焼きうどんを食べておまけに針に糸を通すという念の入ったこの趣向。

汗をたっぷりかいて針に糸を通す我慢をすれば、かなりスタミナを消耗するとわかっていても、こうなりゃ意地おらが町のためなら暑さもなんのその祭装束に身を固めて奮闘。

都市対抗野球の恒例の応援合戦。さぞかし、バテる事だろう。

夏バテには栄養を、スタミナをとウナギのバーゲン。脂ののったうなぎは板前さんのあざやかな庖丁さばきでみると串焼きにされる。

見てるだけではスタミナはつかないとわかって、大枚をはたいてスタミナを買っていく消費者。
うなぎを食べてビールを飲んで、これで夏バテも飛ぶだろと思うのだが……。

*踊るアホウに見るアホウ、同じアホなら踊らにゃ損々。

かけ声に連られて舞台にのぼれば、又暑さがにじみ出る。夏の一日、どう過してみても夏バテから解放されないようです。